

令和5度「一市町村民会議一運動」活動紹介

瑞浪市青少年育成市民会議

「高校生と語る会」で『18歳って大人?』について交流

10月7日（土）に瑞浪市総合文化センターにて、中京高等学校・麗澤瑞浪高等学校・瑞浪高等学校の生徒と青少年育成市民会議家庭地域教育事業部会・町民会議の皆さん約50人の参加を得て、「高校生と語る会」を開催しました。

成人年齢が18歳になったことに関わって、テーマを「18歳って大人?」としました。高校生の本音を引き出し、議論が深まるようにと司会の在り方や机列などにも工夫をしました。当日は、話しやすい雰囲気の中で、とても盛り上がりのある「高校生と語る会」とすることができました。

各グループの高校生代表が全体会の場で報告をした意見の一部紹介します。



【「18歳って大人?」について交流しました】

＜ 参加した高校生の声 ＞

- ・18歳で成人になり、選挙権が与えられることは嬉しい。私たち若い世代の社会進出が今、世界と対抗していくために日本には必要だと思うし、日本の将来を変えていくのは若い私たちなので、選挙を通して、政治に積極的に参加していきたい。
- ・司会の方が「そのことについてはどう思う?」などと話を広げてくださり、とても話しやすく緊張が解けて楽しかった。大人の方が自分の経験を踏まえて18歳の時の自分の話をしてくださっておもしろかった。
- ・成人になると責任が課せられ大変だと思っていたけど、身の回りの環境の変化によって自然に大人になるというリアルな大人の意見が聞けたのがよかった。身近な大人と話す機会はよい経験だと思いました。
- ・他校の生徒や大人の方々と話し合ってたくさんの刺激がありました。また良い雰囲気でも話し合えました。成人と大人の違いは、法律上の数字である18歳は成人だが、「大人」という言葉には重みがあり、まだまだ大人と言い切るのには難しいのではないかと思います。
- ・僕はまだ16歳で経験も足りていません。だからこそ年上の方や学校の先生、親から学ぶ必要があると思いました。そして教えてもらうだけでなく、自分の考えや行動を見直すことが必要なんだと考えました。
- ・大人になると責任について考えなければならないと思っていました。しかし、大人の方の意見を聞いていると、「周りに認められたら大人だと感じる」という意見があり、大人でも大人というものがあまり分からないくらい難しいものなんだと思いました。

